

外務省同時発表

平成30年12月12日  
総合政策局国際政策課  
(グローバル戦略)

「MADE WITH JAPAN」の理念共有へ！

## アフリカ各国に向け、日本の「質の高いインフラ」を紹介

～アフリカ各国在京大使館・留学生向けシティ・ツアーを開催しました～

国土交通省は12月6日、来年8月に横浜で開催される「第7回アフリカ開発会議（TICAD7）※」に向け、アフリカ各国への日本の「質の高いインフラ」PRの一貫として、「シティ・ツアー」を開催しました。

今回は、在京アフリカ大使等（14カ国18名）に加え、中長期的な人材育成の観点から、アフリカからの留学生（4カ国4名）にもご参加いただきました。

参加者は、品川駅北周辺地区の開発予定地や八王子南バイパスにおけるトンネル掘削の現場を視察しました。

また、阿達政務官から各国大使等に対し、アフリカにおける「質の高いインフラ」を「MADE WITH JAPAN」で目指していきたい旨と、TICAD7開催時に国土交通省が主催する「日・アフリカ官民インフラ会議」へ、各国のインフラ担当大臣に出席いただきたい旨を伝えました。

1. 開催日：平成30年12月6日(木)

2. 主催：国土交通省、外務省(共催)

3. 出席国・人数：14カ国18名(下線は大使級出席国)

アンゴラ、ベナン、コンゴ共和国、コードジボワール、エチオピア、  
リビア、モザンビーク、セネガル、タンザニア、トーゴ、チュニジア、  
ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ

※上記に加え、エジプト、エチオピア、  
ケニア、ウガンダからの留学生4名  
が参加

4. 結果概要：別紙をご覧ください。



＜八王子バイパス トンネル内の集合写真＞

※Tokyo International Conference on African Development の略で、アフリカの開発をテーマとする国際会議。詳細は外務省ホームページ(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ticad/index.html>)を参照ください。第7回は来年8月28日から30日まで横浜にて開催。

TICAD7 ロゴマーク →



問い合わせ先

総合政策局国際政策課(グローバル戦略)

長谷川、岐山、小島(内線 25225, 25226)

TEL : 03-5253-8111 (代表) 03-5253-8316 (直通)

FAX : 03-5253-1562

### ① 国土交通省幹部とアフリカ各国在京大使等との意見交換等(国土交通省)

冒頭、阿達政務官より、アフリカの課題解決に資する我が国の「質の高いインフラ」を、ローカル人材の育成につながる「MADE WITH JAPAN」で目指していきたい旨挨拶を行いました。

意見交換では、来年 8 月、TICAD7 に合わせて国土交通省が主催する「日・アフリカ官民インフラ会議」に、各国のインフラ担当大臣に是非出席いただきたい旨等、政務官から伝えました。



<阿達政務官による冒頭挨拶>



<意見交換の様子>

### ② 現地視察：品川駅北周辺地区開発(品川)

現場に隣接する事務所にて、JR 東日本から、山手線新駅(高輪ゲートウェイ駅)を含む品川駅北周辺地区の模型を用いて開発計画に関する説明が行われた後、現場を一望しました。在京大使等からは、開発計画に至る経緯や予定されている国際水準の住空間の計画、新駅開業による効果等に関心が示されました。



<模型を用いたプロジェクト説明>



<室内からの現場開発状況視察>

### ③ 現地視察：国道 20 号八王子南バイパス工事現場(八王子)

八王子南バイパスの工事現場では、シールド工法によるトンネル掘削現場の視察を行いました。在京大使等からは、シールド工法の技術や、トンネル周辺の土地に建っている住宅等への音・振動による影響が少ないこと等について関心が示されました。



<トンネル内の集合写真>



<現場での説明の様子>